

シンクサイト株式会社

<https://thinkcyte.com/>高速イメージングセルソーティング技術を用いた
革新的治療・診断法の開発

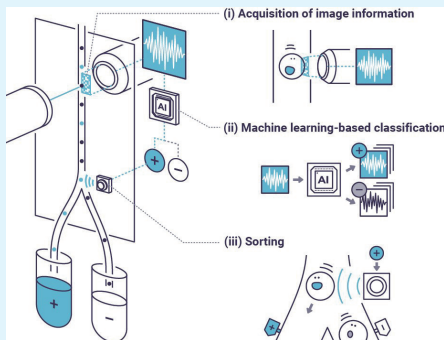
会社の特徴、事業概要

シンクサイトは、先端イメージング、機械学習、マイクロ流体等の異分野技術を組み合わせた次世代型のイメージ認識型高速セルソーティング技術を世界で初めて開発した。この基盤技術を用いて、より安全で有効性の高い再生・細胞医薬や創薬の実現、新たな医療検査診断技術の実現などを始め、革新的な治療・診断技術の開発を進めている。既にプロトタイプ機が完成しており、研究機関での利用が開始されるなど、国内外の研究機関、医療機関、企業との共同研究が進められている。同社はアカデミアや組織の枠を越えて、若手研究者が集まって企業を設立し、研究者らが主体的に、世界初の技術を国際的に広げる試みを行う場となっている。共同で研究開発した技術は2018年にScience誌にも掲載され、大きな注目を集めている。

大阪大学との関係

大阪大学大学院情報科学研究科堀崎遼一助教(研究当時、現在は東京大学大学院 情報理工学系研究科准教授)研究グループによる成果を実用化、社会実装するベンチャーとして、2016年2月にシンクサイトを設立。堀崎助教らの研究グループは、高速・高感度かつシンプルに細胞形態データを圧縮計測する単一画素イメージング法に、機械学習技術と流体ハードウェア技術を融合し、大きさも同じで人の目で見ても形の似た細胞でさえも高速・高精度に分析・判別し、その細胞を超高速で分取するシステム、高速蛍光イメージングセルソーターを世界で初めて実現。これは「ゴーストサイトメトリー」と名付けられており、毎秒数千個というスピードで細胞をリアルタイムに判別し、選択的に取り分けることが可能である。

ゴーストサイトメトリー技術の概念図



製品イメージ



本社所在地 東京都文京区本郷7-3-1

代表取締役 勝田 和一郎

設立 2016年2月